

今回調査の対象となった会員各位の個人情報は、一般社団法人日本作業療法士協会が定める手続に則り、「会員個人情報保護に関する誓約書」を会長宛てに提出し、総括個人情報管理者である事務局長の決裁を経た上で入手し、今回の調査とその結果に基づく研究のためにのみ使用するものです。ご不審の点がございましたら協会事務局にお問い合わせください。

研究説明書

研究課題： 作業療法士が行う社会的処方に類似する実践の実態調査

研究者名： 木口尚人

所属： 茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科

この同意説明文書は、研究課題「作業療法士が行う社会的処方に類似する実践の実態調査」について、その趣旨を十分にご理解いただくことを目的として作成されたものです。この研究に参加・協力していただけるかどうかは、あなたの自由意志によって決めていただきます。

1. 研究の目的

社会的な孤立等の社会的課題による健康被害が世界的な問題となっており、この問題に対して英国では、医療従事者が地域の非医療資源を処方して患者の健康を支援する社会的処方というシステムが誕生し、近年本邦を含め世界中で社会的処方を導入する動きが急速に進んでいます。世界保健機関(WHO)や各国の作業療法士協会は社会的処方のより高い効果を得るために作業療法士の関与を期待しております。本研究では、本邦の作業療法士がどのように社会的処方に関わることができるのかに関する視座を得ることを目的としています。

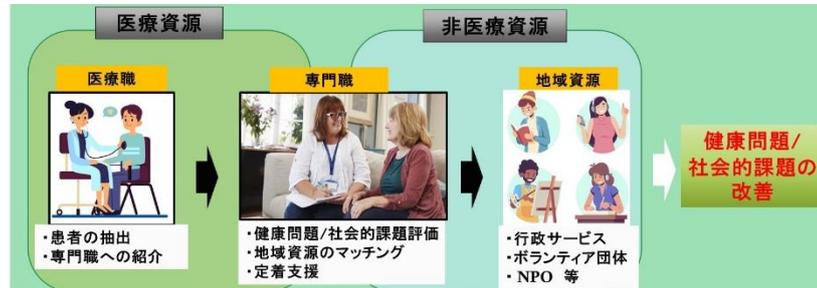
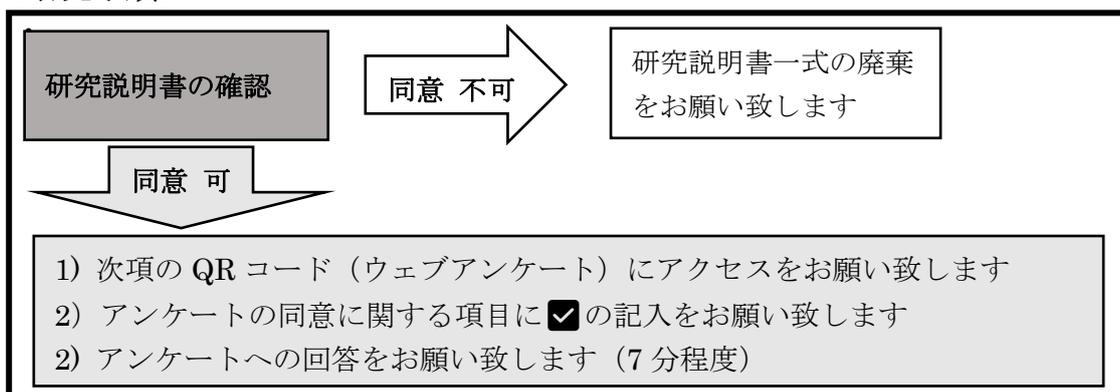


図1 英国で行われることが多い社会的処方の一例 (Pescheny, 2018、Kimberlee;2015)

2. 研究の方法

以下に示す研究手順で、アンケートへの回答（約7分）を実施させていただきます。本研究期間は2024年4月～2024年6月であり、2週間以内にご回答をお願い致します。

<研究手順>



3. 研究への参加と取り止めの自由について

研究の参加，中断は自由意志であり，アンケートに回答しないことでいかなる不利益を被ることはございません。

4. 個人情報保護

全ての情報はデジタルデータとして管理し，研究者以外の他の者に入手不可能な管理下で厳重に管理されており，本研究以外の目的で使用することはなく，第三者に個人が特定されることは一切ございません。

研究不正防止のため研究終了後 5 年間はデータを保存し，デジタルデータは電子的に完全に消去削除され，秘密の保持などプライバシーの保護を順守致します。

5. 得られたデータの利用範囲，研究成果の発表方法

データは統計学的分析にのみ使用致します。研究成果は日本作業療法学会や，学術雑誌「作業療法」など主に作業療法士を対象としている学科及び論文での発表を予定しております。学会及び論文により公表される場合には，個人を特定できる形では行いません。

6. 研究に参加することで得られる利益と不利益

本研究に参加することによる直接的な利益はございません。

不利益として，アンケートを回答するために 7 分程度の時間を要します。回答することで心理的疲労感を与えてしまう可能性があることございます。疲労感などが生じた際は回答を中断し休息をとるか，中止してください。

7. 研究の当該領域・社会に対する貢献

社会的処方の本邦への導入に向けて，社会的処方に対する作業療法士の関わり方の視座を得ることができます。作業療法士は歴史的に対象者の作業の可能化，社会参加の支援を行ってきた背景があり，本邦に社会的処方が導入される際に，作業療法士がイニシアティブをもって関わることの一助になると考えています。

臨床現場で働く作業療法士において，地域資源を用いた作業療法実践を行う際により良い効果を提供することができる新たな知見を提供できると考えています。

8. 研究に関わる経費

本研究における費用負担は一切掛かりません。

<アンケートフォーム>
下記 QR コード(URL)にアクセス頂き、
ご回答をお願い致します。



<https://forms.gle/FgzzoBYa6R19ayxx8>

<問い合わせ先>

〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2
茨城県立医療大学 作業療法学科
研究代表者/責任者：木口 尚人
電話番号：029-840-2220（作業療法学科代表）
Email：kiguchina@ipu.ac.jp

参考資料：社会的処方と作業療法に関する資料

